



宮永岳彦記念美術館だより

2022 10月

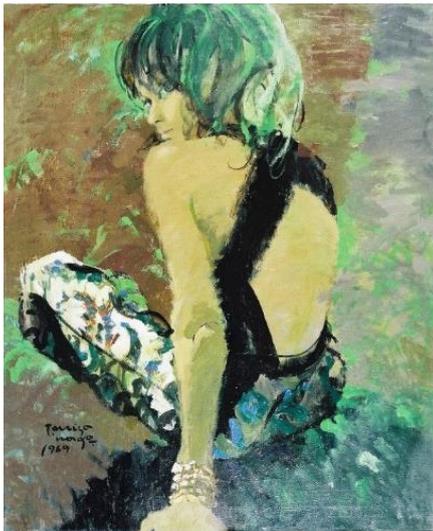
発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL / FAX 0463-78-9100

常設展示室



10月1日(土)から始まりました新展示では、私たちに語りかけてくるような、生き生きとした表情としぐさをみせる魅惑的な女性の作品を集めました。華麗なる女性美を礼賛した「宮永芸術」。宮永岳彦が描き続けた理想の女性像をお楽しみください。

展示作品より今月の一点 《 憩 》



1969年(昭和44年)、二紀会委員展に出品された作品です。背中が大きく開いた大胆な衣装と動きのあるポーズ、自信に満ちた表情を浮かべて健康的な色気を放つ女性が描かれています。

1950年代から60年代に制作された宮永の油彩画には、抽象美術やシュルレアリスムなど海外の美術思潮の影響が色濃く反映された女性像が描かれていました。しかし「憩」では宮永が表紙画やポスターに描いていたような表情豊かで自信と意思を感じられる女性が描かれています。この後、長く模索を続けてきた油彩画においても宮永独自の画風が確立されていきます。

画家として作品を制作する一方、デザイナーとしても活躍しポスターや雑誌の表紙、挿絵などを数多く手掛けていた宮永は50歳目前のこの頃「純粋に自分だけの絵を描きたい。もう、その時期なんだ。」とグラフィックデザインの仕事を整理し、油彩画に専念することを決意しました。

油彩画 20F 1969年

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

市民ギャラリーのご案内

入場無料

カメラクラブ遊友 “それぞれの世界”

10月4日(火)~10月10日(月祝)

10:00~17:00 (初日13:00から 最終日15:00まで)

「会員の個性と感性を大切に」を基本理念に、各人が個性に富み感性溢れる写真を、独自の方法で展示します。

JUNKO フォトアート展 「空と出会う場所 2022」

10月28日(金)~10月30日(日)

10:00~17:00 (初日13:30から 最終日15:30まで)

山に囲まれた秦野には深い安らぎがある。二度とない今日この時に心響く何かを届けることができますように…。

11月の市民ギャラリー展覧会の予定

さきおり工房浩子(工芸展)

11月3日(木祝)~11月6日(日)

鶴巻デジタル写真教室(写真展)

11月22日(火)~11月27日(日)

日本画府写真部(写真展)

11月29日(火)~12月4日(日)

※ 10月1日(土)から2023年4月分までの予約を受け付けています。

※ 新型コロナウイルスの影響により、催し物の予定が急遽変更になる場合があります。ご来館の際は、お気軽に美術館にお問い合わせください。



昭和54年4月に創刊されたタウン誌『日本橋』。創刊当初は日本橋で働く女性が表紙でしたが、昭和55年4月から昭和58年3月まで宮永が描き下ろした美人画が表紙を彩りました。

桜坂(鶴巻温泉入口) **美術館へのアクセス**

◆ 小田急線鶴巻温泉駅より徒歩2分
◆ 駐車場 弘法の里湯と共用40台
1時間150円、以降30分ごとに100円

《隣接》 公営日帰り温泉 **弘法の里湯** TEL0463-69-2641

10月の休館日: 3日(月) 11日(火) 17日(月) 24日(月) 31日(月)